

私たちはこの稀少植物を守ります



群生地の草刈りをする活動グループ



イズモコバイモ群生地の様子

ユリ科バイモ属は8種類が確認済みですが、環境省のレッドデータブックにおいてそれぞれ絶滅危惧種IA～IIにランクされています。

イズモコバイモ    コシノコバイモ  
カイコバイモ        ミノコバイモ  
ホソバナコバイモ    アワコバイモ  
トサコバイモ        トクシマコバイモ

※トクシマコバイモは雑種起源とする説もあります。

また、島根県ではイズモコバイモを島根県固有種、絶滅危惧I類CR+ENに指定しています。私たちは、この稀少なイズモコバイモが生き続けるため生育環境の保全活動を通じ、自然保護の必要性や環境問題を学び、環境に優しい社会の実現に向けての取り組みを行っています。

多くの皆様のご支援をお願い致します。

イズモコバイモは、温かな雰囲気にも包まれた里山を好み、人里近くの冬は木々が落葉し春と共に新緑が覆いかぶさるような木陰に自生しています。本群生地も年間を通して湿気が多く、水はけが良い小石混じりの粘土質の土地で、地形は傾斜地です。

当地の群生地は、規模的にも広く開花数も多いことから、専門家から日本一との評価をいただいております。平成16年には、町の天然記念物に指定されました。

また、群生地は県道沿いで、観察するには非常に恵まれた場所です。

※車には十分お気をつけください

## イズモコバイモ (ユリ科)

- ・山林地内に生える多年生植物
- ・草丈は15～20cm
- ・葉は長楕円形で長さ5～6cmで、幅は2cm前後で対生または三輪生
- ・開花時期は3月上旬から4月上旬
- ・開花、結実の後、周りの樹木の出揃う頃は枯れてしまう。



冬の根雪が日陰に点在し、春の淡雪が舞うこの季節に、一本の茎をすすると伸ばした先端に地味な花を一つ付け、折からの微風に揺られる不思議な光景を目にすることができます。広い釣鐘で2～3cmの花びらを恥ずかしそうに下向きにしているこのイズモコバイモは和風味に優れており、いくつかのコバイモ類の中でも、その姿は最も清純可憐です。